

平成27年度 調査研究テーマ 一覧

大 分 類	目 的	小 分 類 (個別研究テーマ)	研究代表者	分 担 者
【大テーマ】(1) 南海トラフ地震に関する調査研究	南海トラフ地震への県民のさらなる「わがこと感」の醸成や、地震発生直後の迅速な津波避難など、県民自らによる防災行動につなげるため、自然科学的、歴史学的手法や、被害想定結果などの素材を用いて、南海トラフ地震に関する発生メカニズムや地震像、被害像などを「見える化」する。	地震・津波の観測情報の活用に関する研究	川口 淳	葛葉泰久, 水木千春, 高橋成美(JAMSTEC), 若林直樹(三重県職員)
		南海トラフ地震の被害想定から見た地理的特別地域分類に関する研究	川口 淳	水木千春, 橋本賢二(三重県職員), 伊藤文善(三重県職員), 森 将和(三重県職員), 三重大学学部生
		南海トラフに関わる地震のメカニズム解明に関わる研究	葛葉泰久	木村武志(防災科学技術研究所), 三重大学学部生
		歴史的手法を用いた東南海地震像に関する研究	水木千春	川口 淳, 宮岡邦任, 奥野真行(三重県職員)
		過去の被災履歴から見た市街地形成の変遷に関する研究	水木千春	松浦健治郎, 川口 淳
【大テーマ】(2) 風水害像の『見える化』に関する調査研究	台風接近時等における早めの避難など、県民自らによる防災行動につなげるため、科学的知見に基づく風水害に対する県内各地域の脆弱性を明らかにする手法や歴史学的手法などを用いて、地域に起こり得る風水害像を「見える化」する。	風水害危険度の視覚化に関する研究	葛葉泰久	三重大学大学院院生, 三重大学学部生
		土砂災害の危険度の視覚化に関する研究	山田 孝	葛葉泰久
		DEMデータによる熊野酸性岩斜面崩壊の検討	酒井俊典	
【小テーマ】(1) 大規模災害発生後の各フェーズにおける災害時要援護者支援に関する調査研究	地震発生直後の迅速な津波避難支援や、災害が長期化する中での災害関連死リスクを軽減するための災害時要援護者支援策について研究する。	地域における災害時要援護者の支援策を具体化するための教育方法の検討	磯和勅子	平松万由子, 北川亜希子, 服部由佳, 川口 淳